

## 通所介護相当サービス事業所運営規程

### (事業の目的)

第1条 株式会社テトスが開設する通所介護相当サービス事業所のふじデイサービス（以下「事業所」という。）が行う通所介護相当サービスの事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の介護福祉士又はヘルパー研修の修了者等（以下「従業者」という。）が、要支援者・及び事業対象者に対し、適正な通所介護相当サービスを提供することを目的とする。

### (運営の方針)

第2条 事業所の従業者は、要支援者及び事業対象者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うものとする。

2 事業の実施に当たっては、菊川市、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

### (事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 ふじデイサービス
- (2) 所在地 菊川市東横地字新橋向 1938 番 1

### (従業者の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者 1名  
管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、自らも通所介護相当サービスの提供に当たるものとする。
- (2) 生活相談員 1名以上  
生活相談員は、利用者及びその家族からの相談に応じるとともに事業所内サービスの調整、居宅介護支援事業所等との連絡調整を行う。
- (3) 看護職員 1名以上  
看護職員は、通所介護相当サービスの利用者に対し、必要な健康管理、又は服薬管理を行う。
- (4) 介護職員 5名以上  
介護職員は通所介護相当サービスの利用者に対し、入浴・排泄・食事等の介護を行い、自立支援に繋がる適切な介助を行う。
- (5) 機能訓練指導員 1名以上  
機能訓練指導員は、通所介護相当サービスの利用者に対し、機能の維持や筋力維持向上できるように訓練指導を行い、介護職員に対する技術指導を行う。

(営業日及び営業時間等)

第5条 事業所の営業日及び営業時間等は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。但し、12月30日から1月3日までを除く。
- (2) 利用定員 月曜日から土曜日まで**32人**以内とする。
- (3) 営業時間 午前8時00分から午後5時00分までとする。
- (4) サービス提供時間 午前9時00分から午後4時05分までとする。
- (5) 延長サービス時間 午後4時05分から午後6時05分までとする。

(通所介護相当サービスの内容及び利用料等)

第6条 通所介護相当サービスの内容は次のとおりとし、通所介護相当サービスを提供した場合の利用料の額は、介護報酬の告示上の額とし、当該指定通所介護相当サービスが法定代理受領サービスであるときは、利用者の負担額は、介護保険負担割合証により定められた額とする。

- (1) 送迎
- (2) 運動器機能向上
- (3) 入浴
- (4) 食事
- (5) 生活相談
- (6) その他

2 時間外対応した時には1時間につき2,500円を徴収する。

3 通所介護相当サービスにかかるその他の費用については次の額を徴収する。

- ① 昼食代715円(含む、おやつ代)
- ② オムツ100円・尿とりパット大50円、小30円
- ③ 歯ブラシ100円、歯間ブラシ20円
- ④ キャンセル料

ご利用日の前営業日午後5時00分までにご連絡いただいた場合	無料
ご利用日の当日午前8時00分までにご連絡いただいた場合	基本料金の50%
ご利用日の当日午前8時00分までにご連絡がなかった場合	基本料金の100%

⑤ 教材費として実費

4 前各項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名(記名押印)を受けることとする。

(サービス利用に当たっての留意事項)

第7条 利用者は、サービス利用に当たり次の事項について留意しなければならない。

(1) 体調の確認 : 体調の悪い時は前営業日までに申し出る。

通所介護相当サービス利用日の朝、家族が体調の確認を行い、気になること等がある時は必ず職員に伝えること。また、発熱等体調に異常がある時や病気の時は、通所介護相当サービスの利用はできない。

(2) 利用時間の変更 : 前営業日までに申し出ること。

- (3) 利用時間の延長 : 前営業日までに申し出ること。
- (4) 設備、器具の利用 : 担当職員の指示に従って利用すること。
- (5) その他 : 施設設備等について故意または過失により破損した場合は相当額の対価を支払うこと。

(緊急時等における対応方法)

第8条 従業者は、通所介護相当サービスを実施中に、利用者の病状に急変その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医及び家族等に連絡する等の必要な措置を講ずるものとする。

(非常災害時の対応方法)

第9条 従業者は、通所介護相当サービスを実施中に、地震等非常事態が発生したときは、速やかに利用者を安全な避難場所へ誘導するものとする。非常災害に関する具体的な計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に従業員に周知するとともに、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う。

(事業の実施地域)

第10条 事業の実施地域は、菊川市（全域）とする。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

第11条 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止のため、虐待防止のための指針を整備するとともに、必要な体制の整備を行い、従業者に対し、研修を実施する等の措置を講ずるよう努めるものとする。

(その他運営についての留意事項)

第12条 事業所は、従業者の質的向上を図るための研修の機会を設けるものとし、また、業務体制を整備する。

(1) 採用時研修 採用後3か月以内

(2) 継続研修 年2回

- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を正当な理由なく漏らしてはならない。
- 3 事業者は、従業者であつた者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においても、これらの秘密を保持させるべき旨を、従業者との雇用契約の内容とする。
- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は（株）テトスと事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

変更 令和5年3月1日から施行する。（5条2項 利用者定員変更）

変更 令和5年6月1日から施行する。（6条3項 昼食代変更、その他文言見直し）

変更 令和6年 3月31日から施行する。（11条 虐待防止措置に関する事項 追加）